



い き い き

小 富 士 っ 子



R 6 学校便り No17

令和 6. 1 2. 2 5

四国中央市立  
小富士小学校

## 2学期を振り返って

2学期には行事や体験活動が多くあり、行事への取組や体験活動を通して子どもたちにとって実りの多い学期になりました。保護者や地域の皆さんにも、行事に積極的に参加するなど学校の活動にご協力をいただき、また、子どもたちを支えていただきました。本当にありがとうございました。今学期も読書活動に力を入れて頑張りました。朗読集会では各学年がそれぞれ工夫をして表現豊かに朗読を披露することができました。「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善に努め、子どもたちも意欲的に学習に取り組み、学力向上の成果も見られており、ますます子どもたちに力を付けられるようにしたいと思います。引き続きご理解ご協力をよろしくお願いします。終業式では、子どもたちに冬休みに頑張ることをいつもどおり三つ（①いのちを大切にす。②規則正しい生活を送る。③家族の一員として役目を引き受ける。）お願いしました。冬休みが安全安心で楽しく、有意義で充実したものになるよう子どもたちの様子を見守り、見届けてください。良いお年をお迎えください。

## 「お」と「を」



間もなく能登半島地震発災の日から1年になります。遺族の皆さんにとっては忘れられない日なのだろうと思います。普通は忌日には死者の安息を願いレクイエム（死者の安息を願うための曲）が流され歌われます。有名なのはヴェルディのレクイエムで、その中でも「怒りの日」は誰もが聞き覚えのある曲だと思えます。ところが、阪神大震災から10年のチャリティーコンサートでは「千の風になって」

が歌われています。歌詞を読めば分かりますが、「千の風になって」は故人からの言葉を歌ったものですから、故人を弔う歌としてはふさわしくないように思えます。しかし、遺族は故人の言葉を直接聞くことはできませんが、故人の言葉が聞けるならば、遺族は心が癒され、故人を偲ぶことができるのではないかと考えます。故人から「私は風になって、大きな空を吹きわたっています。」と言われると、故人は自由を得て、想いは生き続けているのだと感じます。後に「千の風になって」は、本県出身の秋川雅史さんが歌唱したことで有名な歌になりました。秋川さんの歌声や歌い方は、この歌にぴったり合っていると思います。そんなとき、誰かが「秋川さんは『を(o)』を『を(wo)』と歌っている。」と言ったのです。秋川さんの歌を違和感なく聞いていた私には、何を言っているのか分かりませんでした。全国的には「を」は「オ」と発音し、現代かなづかいにもルールとして、そのように記載されています。「を」を「wo」と発音するのは、どうやら愛媛の方言と思われる。「わ」は「wa」なのに、なぜ「を」は「o」なのでしょう。ちなみに現代かなづかいを文部大臣に答申した国語審議会会長は、なんと松山出身の方だそうです。歴史的仮名遣では、「を」を「wo」と発音し、千年の歴史があります。「を」を「wo」と教える愛媛は、やはり真面目です。次の千年で言葉は、どのように変わるのでしょうか。しかし、被災地の復興には千年（長年のたとえ）もかけずに、できるだけ早くしないといけませんね。

ホームページもご覧ください。 <https://kofuji-e.esnet.ed.jp/>